

ツキノワグマ被害防止対策パッケージ推進

令和7年12月1日策定
令和8年3月12日更新

✓市民の安全安心な暮らしを守るため、全庁連携により出没抑制対策や捕獲体制強化など施策パッケージを推進

現行予算・予備費

(緊急的な対応)

総額：160,354千円

令和7年度予算 30,888千円

予備費 129,466千円

～秋の出没増から「今」身を守る緊急対策～

1 誘引木の伐採・見通しの確保 110,466千円

✓公園・河川など公管理地の誘引木伐採・藪の刈払い等および管理困難な民有地ハイリスク誘引木の行政伐採 110,466千円【環境局・建設局・宮城総合支所・太白区・泉区】

2 侵入防止対策 800千円

✓仮設電気柵設置 800千円【環境局】

3 パトロールや注意喚起 8,348千円

✓EVスクーター 2,624千円【環境局】
✓パトロール(学校周辺車両巡回) 3,524千円【教育局】
✓身を守る対策周知の新聞広告 2,200千円【総務局・環境局】

4 対策物資拡充等 36,882千円

✓防護グッズ(クマ鈴、クマ忌避剤、防護服等) 23,620千円【経済局・建設局・教育局・青葉区・宮城総合支所・宮城野区・秋保総合支所・泉区】
✓対策備品・資機材等(センサーカメラ、車両、チェーンソー、広報用スピーカー、注意看板、箱わな等) 13,262千円【建設局・青葉区・宮城総合支所・宮城野区・太白区・秋保総合支所・泉区】

5 農業被害対策 3,858千円

✓実施隊への遭遇回避グッズ(花火等) 3,858千円【経済局】
✓実施隊員の報酬改善(人件費対応)【経済局】

6 緊急時の体制強化

✓緊急銃猟等を担う方の報酬改善(人件費対応)【環境局】

令和7年12月補正予算

(短期的な取り組み)

総額：

230,501千円

～冬から春の「出会い頭」被害を防ぐ安全対策～

1 誘引木の伐採・見通しの確保 201,354千円

✓公園・河川など公管理地の誘引木伐採・藪の刈払い等および管理困難な民有地ハイリスク誘引木の行政伐採 201,354千円【環境局・経済局・建設局・教育局・青葉区・太白区・秋保総合支所・泉区】

2 侵入防止対策 7,800千円

✓電気柵設置等 7,800千円【環境局・建設局】

3 パトロールや注意喚起 6,292千円

✓パトロール(学校周辺車両巡回) 6,292千円【教育局】

4 対策物資拡充等 9,195千円

✓防護グッズ(クマ鈴、クマ忌避剤等) 8,945千円【健康福祉局・建設局・教育局・太白区・秋保総合支所】
✓広報・緊急対応・草刈等対応車両用燃料費 250千円【青葉区・太白区・秋保総合支所】

5 農業被害対策 5,860千円

✓クマ追い払い装置購入支援 2,860千円【経済局】
✓耕作放棄地等刈払い支援 3,000千円【経済局】

令和8年度予算

(中期的な対応を含む取り組み)

総額：

257,840千円

～今後を見据えた被害を防ぐ地域づくり～

1 誘引木の伐採・見通しの確保 215,602千円

✓公園・河川など公管理地の誘引木伐採・藪の刈払い等および管理困難な民有地ハイリスク誘引木の行政伐採 215,602千円【健康福祉局・環境局・建設局・青葉区・宮城総合支所・太白区・秋保総合支所・泉区・教育局】

2 侵入防止対策 21,819千円

✓電気柵設置等 7,785千円【環境局・青葉区】
✓地域一帯での対策強化に向けた調査を含むモデル事業 12,634千円【環境局・各区・支所】
✓AIカメラ活用実証、追い払いを視野に入れたICT活用の有効性検証 1,400千円【まちづくり政策局・環境局】

3 パトロールや注意喚起 13,374千円

✓パトロール(学校周辺車両巡回) 12,584千円【教育局】
✓町内会回覧チラシ、看板設置等 790千円【環境局・青葉区】

4 対策物資拡充等 6,045千円

✓防護グッズ(クマ撃退スプレー、クマ忌避剤等) 4,883千円【環境局・青葉区・宮城総合支所・太白区・秋保総合支所・泉区】
✓対策備品・資機材等(サーマルスコープ、燃料等) 1,162千円【青葉区・宮城総合支所・秋保総合支所・泉区】

5 緊急時の体制強化 1,000千円

✓緊急銃猟等を担う方の報酬改善(人件費対応)【環境局】
✓職員や捕獲者の研修受講促進 1,000千円【環境局】
✓県と連携した個体数管理の推進【環境局】

令和8年度予算

(基盤となる継続的な取り組み)

総額：

6,934千円

平常時の啓発から緊急時の捕獲まで総合的な対策の推進(環境局・経済局・各区ほか。宮城県警など関係機関との連携を含む)

・市ホームページ、市政だより、啓発チラシ、パネル展示、クマ対策講座等による身を守る対策などの周知、クマ出没情報マップによる出没傾向発信
・出没時の現場確認や広報車で呼びかけ、周辺の町内会や学校への注意喚起、メール配信サービスや市公式LINEでの通知
・必要に応じて専門事業者の侵入経路調査や具体的な誘引物除去の助言、被害防止のための箱わなや銃を用いた速やかな捕獲 など